

第10回佐世保市子ども・子育て会議 議事録（要約版）

日時：平成29年3月28日（火）19時～21時

場所：佐世保市役所本庁舎4階 全員協議会室

質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
議事（1）保育所及び幼保連携型認定こども園の認可等について	
<p>①就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第17条第3項に基づき「幼保連携型認定こども園の認可」に関する意見聴取を1件実施した。</p> <p>②児童福祉法第35条第6項に基づき「保育所の認可」（設置主体変更）に関する意見聴取を1件実施した。</p>	
議事（2）市内保育施設の利用定員変更について	
（意見・質問なし）	
議事（3）平成29年度における子ども未来部の主な取り組みについて	
<p>（保育所等の新設について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市の中心部（本庁管内）に新設予定とされているが、待機児童の発生状況は？ ・ 市の保育所施設整備補助における負担割合は？ ・ これから公募して平成30年4月の開設に間に合うのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年1月1日時点で待機児童が104名発生しており、内訳は、本庁管内で26名、相浦が12名、早岐が19名、日宇が35名（兄弟児を含む）。本庁管内は、保護者の勤め先ということもあり、待機児が多い。併せて、エリア内の認可外保育施設が今年度末で閉園する事情も考慮し、それらを利用されていた方を想定して、本庁管内とした。 ・ 国県が1/2、市が1/4、施設設置者が1/4。待機児童対策ということになると、市の持ち出しが1/12となる。 ・ 市議会での議決（3月24日）を受け、すぐに公募条件の作成に入っている。施設整備の増改築等については、半年ほどのスケジュールを組んで実施しているため、開設は可能ではないかと考える。

質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域的に考えると、公立保育所の拡充を考慮するのはどうか。 ・ 公立施設と民間施設の割合というのも重要ではないか。民間であれば、各施設のポリシーが必ずあるわけで、どこに預けても同じことが成り立つこと自体がおかしい。市役所が方向性を示すためには公立の施設があるのは当然である。一方、民間の新しい考え、子どもたちのことを考えた新しい施設があっていいと思う。 <p>(その他意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 待機児童ゼロに向かって全力で取り組んでほしい。 ・ 認可保育所が増えることは異論ない。一方、認可外保育施設が大幅に減る。新設は結構だが、認可外が減って困る方が出ていることも踏まえ、取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本庁管内の公立保育所は、中部の大黒保育所であり、定員内に収まっているが、保育士を募集しても応募がないため、充足できていないもの。内部でも対応を検討しており、待機の解消に努めたい。
議事（４）佐世保市子ども・子育て支援事業計画等に関する中間年の見直しについて	
(意見・質問なし)	